

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

平成30年6月15日

京都府知事 殿



提出者

住 所 大阪府大阪市住之江区南港北1-7-89

氏 名 日立造船株式会社 谷所 敬

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

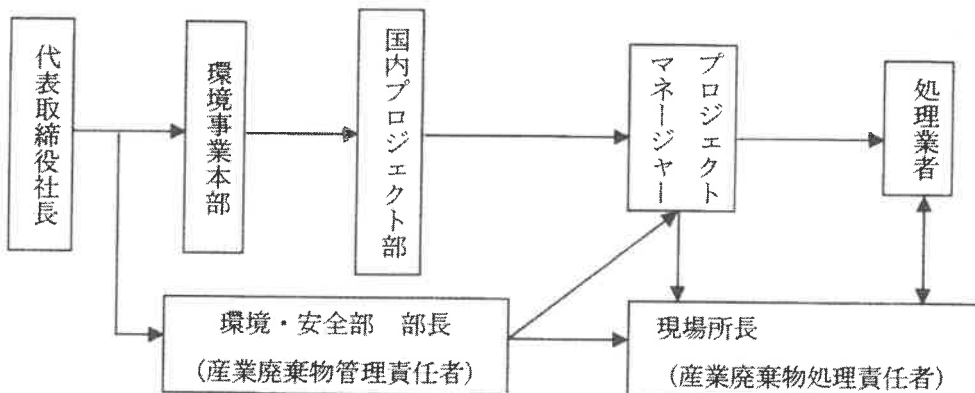
電話番号 06-6569-0145

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	折居清掃工場更新施設整備運営事業 建設工事	
事業場の所在地	京都府宇治市宇治折居18番地	
計画期間	平成30年4月1日～平成31年3月31日	
当該事業場において現に行っている事業に関する事項		
① 事業の種類	06総合工事業	
② 事業の規模	建設工事費 ¥9,122,389,560- (税込)	
③ 従業員数	平均30名	
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	解体工事→分別→コンクリートがら アスコンがら 木くず がれき類 廃プラスチック 焼却灰 汚泥 廃アルカリ 廃酸 混廃	→収集運搬・処分委託 →収集運搬・処分委託 →収集運搬・処分委託 →収集運搬・処分委託 →収集運搬・処分委託 →収集運搬・処分委託 →収集運搬・処分委託 →収集運搬・処分委託 →収集運搬・処分委託 →収集運搬・処分委託

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 平成29年度現状	【前年度（平成29年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組) 産業廃棄物の発生を抑制する施工方法の検討と分別による集積と処分を行った。		
② 平成30年度計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 解体工事で発生した廃棄物を適正に分別・処分する。		

産業廃棄物の分別に関する事項

① 平成29年度現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現場内にてコンクリートがら、アスコンがら、石、木くず、ガラス・陶磁器くず、石膏ボード、ALC、がれき類、廃油、混廃と適切に分別した。
② 平成30年度計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 従業員に対し解体工事で発生した産業廃棄物を適正に分別を行うよう教育を徹底する。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 平成29年度現状	【前年度（平成29年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 自ら直接再生利用は行っていない。		
② 平成30年度計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 自ら直接再生利用は行わない。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 平成29年度現状	【前年度（平成29年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組) 自ら中間処理は行っていない。			
② 平成30年度計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組) 自ら中間処理は行わない。			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 平成29年度現状	【前年度（平成29年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 自ら埋立処分、海洋投入処分は行っていない。		
② 平成30年度計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 自ら埋立処分、海洋投入処分は行わない。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 平成29年度現状	【前年度（平成29年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	全処理委託量	1165.35 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t	t
	再生利用業者への処理委託量	0.0 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	t
	(これまでに実施した取組) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律に従い、産業廃棄物の収集運搬または処分を委託できる業者を選定し、書面による契約を行っている。		

(第5面)

② 平成30年度計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	全処理委託量	17,895 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0.0 t	t
	再生利用業者への 処理委託量	0.0 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0.0 t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0.0 t	t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律に従い、産業廃棄物の収集運搬または処分を委託できる業者を選定し、書面による契約を行う。</p>		
※事務処理欄			

平成29年度 産業廃棄物実績

産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら	石	木くず	ガラス・陶磁器くず	焼石膏ボード	ALC	がれき類	廃油	混廃	合計
排出量	166.72	691.44	0	89.65	23.4	8.4	0	38.48	0.36	146.9	1165.35
自ら再生利用する量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
自ら熱回収する量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
自ら中間処理による減量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
自ら埋立処分又は海洋投入処分する量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
全処理委託量	166.72	691.44	0	89.65	23.4	8.4	0	38.48	0.36	146.9	1165.35
優良認定処理業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
再生利用業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
認定熱回収業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(単位:t)

平成30年度 産業廃棄物計画

産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら	木くず	がれき類	廃プラスチック	焼却灰	汚泥	廃アルカリ	廃酸	混焼	合計
排出量	16000	720	49	880	25	30	15	40	6	130	17895
自ら再生利用する量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
自ら熱回収する量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
自ら中間処理による減量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
自ら埋立処分又は海洋投入処分する量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
全処理委託量	16000	720	49	880	25	30	15	40	6	130	17895
優良認定処理業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
再生利用業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
認定熱回収業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(単位:t)